



骨粗しょう症便り Vol.17

口腔ケアについて

骨粗しょう症の患者さんは、歯を支えている骨が弱くなったり、歯の周りの組織に炎症が起こりやすくなるため、歯周病になりやすいことがわかっています。

歯周病を放置したり、口腔内が不衛生な状態に加えて、骨吸収抑制剤などを長期的に使用すると**顎骨壊死**を起こす可能性があります。

顎骨骨髄炎・顎骨壊死を予防するには、適切な口腔ケアにより口の中を清潔に保ち、口腔内の感染を防ぐことが重要です。

あごに鈍い痛みが続く、歯肉の孔から膿(うみ)が出続けている、下くちびるや下あごあたりがしびれるなどの症状があればスタッフまで申し出てください。

口腔ケアのポイント

口腔内を清潔に

ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ちましょう。

歯科受診

骨粗しょう症治療を始める時に、薬剤によっては歯の治療をおすすめする場合があります。骨粗しょう症治療中は3カ月に1度は歯科で歯や歯ぐきチェック、ブラッシング指導、歯石の除去などを受けましょう。

歯科医への相談

歯科受診時には、骨粗しょう症の治療中であることを歯科医へ伝えましょう。

骨粗しょう症治療中は口腔ケアが非常に大事になります。ご不明な点や気になることがあれば医療スタッフへご相談ください



社会医療法人美杉会
男山病院 整形外科

八幡市男山泉19

☎075-983-0001(代表)

<http://misugikai.jp/otokoyama/>